

令和 2年 7月 20日

公益財団法人テクノエイド協会 殿

（依頼者）

〒473-0923

住所 愛知県豊田市中根町大切50番地1

事業者名 アスカ株式会社

担当者所属 開発本部

担当者名 出口 寛

電話番号 0565 51 2755

電子メールアドレス deguchi201@aska.co.jp

介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼書

貴法人が福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式の一環として行う、介護ロボット等に係る「**介護現場と開発企業の意見交換実施事業**」又は「**試作機器へのアドバイス支援事業**」について、下記の書類を提出して依頼します。

記

1. 介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書
2. 会社概要（任意様式）
3. これまでの介護ロボット等に関わる開発実績がわかる書類（任意様式）
※）実績がない場合は、提出不要

（本書類の取扱いと留意事項について）

- ご提出いただく「介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書」は、介護施設等とマッチングする際、当協会のホームページを通じて、介護施設等へ公開いたします。従って、記載する内容は、公開可能な範囲で差し支えありませんが、具体的な記載がない場合には、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご了承ください。
- 適切なお協力がいただける介護施設等とマッチングするためにも、記載内容は技術的な事に偏らず理解しやすいものとしてください。
- 当協会では記載内容や本事業に関わる各種の相談を承っております。
- 案件によっては、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご留意ください。

介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書

1. 希望する事業の種類（いずれかに○印を記入してください。）

| | |
|-----------------------|----------------------------------|
| 1. 介護現場と開発企業の意見交換実施事業 | <input checked="" type="radio"/> |
| 2. 試作機器へのアドバイス支援事業 | <input type="radio"/> |

2. 依頼者（企業）の概要

| | | |
|---|--|-------------------------------|
| 企業名 | アスカ株式会社 | |
| 担当者名 | 出口 寛 | |
| 担当者連絡先 | 住所 | 〒473-0923 愛知県豊田市中根町大切50番地1 |
| | 電話 | 0565-51-2755 |
| | 電子メールアドレス | deguchi201@aska.co.jp |
| 主たる業種 | 製造業 | |
| 主要な製品 | 自動車部品、制御盤、ロボットシステム | |
| 希望する施設等の種類や職種等 希望施設に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください 複数選択可 | <input checked="" type="checkbox"/> 介護老人福祉施設：特別養護老人ホーム <input checked="" type="checkbox"/> 介護老人保健施設：老人保健施設 <input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護：グループホーム <input checked="" type="checkbox"/> 特定施設入居者生活介護：有料老人ホーム、軽費老人ホーム、養護老人ホーム <input type="checkbox"/> 居宅介護サービス：訪問介護、看護、リハ、福祉用具貸与サービス事業者 等 <input checked="" type="checkbox"/> 医療機関：病院、診療所、リハビリテーションセンター 等 <input type="checkbox"/> その他：（ ） | |
| その他 | | |

3. 当該機器の開発コンセプト又は試作機器等の概要（可能な限り詳しく記入してください。）

| | | |
|---------------------------------|---|---------------|
| 機器の名称（仮称） | 高齢者（虚弱）用歩行訓練ロボット | |
| 試作機器の有無及び機器のコンセプト（試作機器あれば写真を添付） | 試作機器の有無 | 1. 有 ・ ○ 2. 無 |
| | 機器の目的及び特徴 (目的) 虚弱、術後回復期など的高齢者の歩行訓練で使用することにより、早期回復と療法士の軽労化をねらう。 (特徴) 高齢者向けに簡便に使用できる歩行訓練ロボット | |
| 想定する使用者及び使用方法、使用場面 | ① 想定する使用者 自立歩行に介助を必要とする高齢者、歩行訓練をしたい方。回復期の方。 条件により片麻痺の方も適応可能とする ② 想定する使用場面 特別養護老人ホーム、老人保健施設、有料老人ホーム 医療機関、病院、診療所、リハビリテーションセンター等 施設内の屋内歩行を基本とするが、状態により施設周辺の屋外歩行も可能とする。 ③ 想定する使用方法 老人施設、病院等の施設で理学療法士の監視の下で、椅子、車いす上でロボットを装着し、起立、平地歩行、着座を自力で行う。 施設内の屋内歩行 | |

| | |
|-------------------------------|---|
| <p>現在の開発状況と 主な課題</p> | <p>高齢者用歩行訓練ロボットの仕様を企画 弊社の対麻痺者用歩行補助ロボット「WPAL」の構造を基に、高齢者用に簡便な仕様を企画 高齢者用の歩行パターンを研究中</p> |
| <p>特にアドバイス（意見交換）を希望している事項</p> | <p>脊髄損傷の方の歩行ロボットとして開発したWPALを、ユーザーの病院の方が高齢者の起立訓練ロボットとして使用した実績があり、老人施設の方から高齢者の歩行訓練ロボットの必要性をお聞きしたい。</p> <p>どんな施設で歩行訓練をしているか どんな風に歩行訓練をしているか どの介護レベルで歩行訓練が考えられるか、必要か 有用な歩行訓練ロボットがあれば使用したいか ロボットに対する抵抗感はあるか ロボットの希望価格帯、購入、リース、レンタル等</p> |
| <p>その他</p> | |

(注) 必要に応じて記載欄を増やしてください。

アスカ(株) 高齢者歩行訓練ロボットイメージ

高齢者が歩行訓練ロボットを両下肢に装着し、療法士等により訓練をしているイメージ図



会社概要

| | |
|----------------------------|--|
| 社名 | アスカ株式会社 |
| 英文社名 | ASKA CORPORATION |
| 設立 | 1953年(昭和28年)12月25日 |
| 資本金 | 903,842,275円 |
| 社員数 (2019年 11月30日現在) | 602名 非常勤3名、子会社への 出向者24名は含まれておりません |
| 取引銀行 | 三井住友銀行、三菱UFJ銀行、 愛知銀行、三重銀行、商工組合中央金庫、 岡崎信用金庫、大垣共立銀行、十六銀行、 みずほ銀行、百十四銀行、 三菱UFJ信託銀行、百五銀行、 信金中央金庫 |

事業所

| | |
|------------|--|
| 本社 本社工場 | 〒448-0002 愛知県刈谷市一里山町東吹戸11番地 TEL 0566-36-7771 FAX 0566-36-8090 |
| 幸田工場 | 〒444-0122 愛知県額田郡幸田町大字六栗字平松14番7 TEL 0564-62-6511 FAX 0564-62-6542 |
| 高浜工場 | 〒444-1301 愛知県高浜市新田町三丁目1番地3 TEL 0566-54-2435 FAX 0566-54-2436 |
| 豊田工場 | 〒473-0923 愛知県豊田市中根町大切50番地1 TEL 0565-51-2755 FAX 0565-52-1245 |

事業内容

| | |
|------------|---|
| 自動車部品事業 | ピラー、サイドルーフレール、 フロアクロス、ルーフボウ、 ラジエーターサポート、 エンジンマウント等 |
| 配電盤事業 | 分電盤、制御盤、FAボックス、 盤用キャビネット等 |
| ロボットシステム事業 | 産業用ロボット「ユニロボ」、 自動化システム、制御装置、 情報通信機器等 |
| モータースポーツ事業 | 岡山国際サーキットの経営 |
| 賃貸及び太陽光事業 | 倉庫・工場の賃貸業務、 太陽光発電による電力の売却 |

役員

(2020年2月27日から)

| | |
|--------------|-------|
| 代表取締役会長 | 片山 敬勝 |
| 代表取締役社長 | 片山 義規 |
| 専務取締役 | 竹之内敏昭 |
| 常務取締役 | 片山 義浩 |
| 常務取締役 | 太田 雅文 |
| 常務取締役 | 神谷 政志 |
| 取締役 | 杉本 篤哉 |
| 取締役 | 清水 達司 |
| 取締役 | 杉浦 隆浩 |
| 取締役(常勤監査等委員) | 内田 陽造 |
| 社外取締役(監査等委員) | 丹治 正幸 |
| 社外取締役(監査等委員) | 川辺 達也 |